

作成日 2021年10月15日(第1版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	アングラシス®
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海1丁目8番10号オフィスタワーX 21階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
Eメールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
推奨用途及び使用上の制限	展着剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分3
健康に対する有害性	皮膚感作性	区分1
	生殖毒性	区分1B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(中枢神経系、視覚器)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分2
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分2

* 記載がないものは「区分に該当しない(分類対象外を含む)」または「分類できない」

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
視覚器、全身毒性、中枢神経系の障害
長期又は反復ばく露による視覚器、中枢神経系の障害
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き:

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手する。
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
 容器を密閉しておく。
 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざける。禁煙。
 容器を接地しアースをとる。
 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用する。
 火花を発生させない工具を使用する。
 静電気放電に対する措置を講ずる。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避ける。
 汚染された作業衣は作業場から出さない。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用する。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしない。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用する。
 取扱い後はよく手を洗う。

【応急措置】

皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐ。皮膚を水又はシャワーで洗う。
 皮膚刺激が生じた場合:医師の診察／手当てを受ける。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察／手当てを受ける。
 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受ける。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。
 漏出物を回収する。

【保管】

施錠して保管する。
 換気の良い場所で保管する。

【廃棄】

内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する。

国／地域情報

引火性液体 (消防法危険物第4類第2石油類、水溶性液体)

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

化学名【一般名】

成分	含有量 (%)	化学特性(化学式又は構造式)	官報公示整理番号(化審法/安衛法)	CAS No.
ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル	40.0	—	7-172	9036-19-5
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	40.0	—	7-97	68131-40-8
メタノール、水等	20.0	—	—	—

(メタノール)	(12.0)	(CH ₄ O)	(2-201)	(67-56-1)
---------	--------	---------------------	---------	-----------

4. 応急措置

一般的アドバイス	緊急連絡先、中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意する。
吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移す。呼吸をしていない場合や呼吸が不規則な状態である場合、人工呼吸を施す。安静・保温に努める。直ちに医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類を脱ぐ。直ちに多量の水を用いて洗い流す。皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡する。汚染された衣類は再使用する前に洗濯する。
眼に入った場合	直ちに多量の水で15分以上まぶたの内側も含め洗う。コンタクトレンズを外す。医師の診察／手当を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師の手当を受ける。医師に製品容器又はラベルを見せる。 無理に吐かせない。
最も重要な急性および遅発性の症状	特異的な症状はない。 既知または予想される症状はない。
医療関係者への情報	特定の解毒剤はない。 対症療法を行う。

5. 火災時の措置

消火剤	小規模火災時： 噴霧放水、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素 大規模火災時： 噴霧放水、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤	棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。
特有の危険有害性	可燃性有機成分を含有するため、火災時に有害性物質を含む黒煙が発生するおそれがある(「10. 安定性及び反応性」参照)。 分解生成物へのばく露は健康を害する可能性がある。
消防士へのアドバイス	
消火を行う者の保護	完全な保護服と自給式呼吸器を着用する。
詳細情報	消火水を排水路や水路に流出させない。 火にさらされた密閉容器は散水して冷やす。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。 危険でなければ漏れを止める。

封じ込め、浄化の方法及び機材除去	土砂、おが屑、その他の吸収剤で漏出物を吸収し、密封できる容器に回収する。回収後、汚染部を水で洗浄する。
二次災害の防止策	風下の人を退避させ、漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱いの際は適切な保護具を着用し、眼や皮膚への接触や吸入を避ける。 ・取扱い時には飲食、喫煙をしない。 ・製品の飛散、漏出等がないようにする。 ・ラベルをよく読んでから、保管・使用する。 ・危険物第4類第2石油類に属するので、火気には十分注意する。
保管	<ul style="list-style-type: none"> ・換気のよい冷暗所で、密封出来る容器に入れて保管する。 ・小児の手の届かない所に保管する。 ・食品や飼料と区別して保管する。 ・消防法の定めに従う。火気厳禁。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱い時にはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。 ・取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。 								
管理濃度	未設定								
許容濃度	<table border="0"> <tr> <td>日本産業衛生学会</td> <td>メタノール 200ppm</td> </tr> <tr> <td>ACGIH</td> <td>メタノール 200ppm</td> </tr> </table>	日本産業衛生学会	メタノール 200ppm	ACGIH	メタノール 200ppm				
日本産業衛生学会	メタノール 200ppm								
ACGIH	メタノール 200ppm								
保護具	<table border="0"> <tr> <td>呼吸器用の保護具</td> <td>保護マスク</td> </tr> <tr> <td>手の保護具</td> <td>不浸透性手袋</td> </tr> <tr> <td>眼の保護具</td> <td>ゴーグル型保護眼鏡</td> </tr> <tr> <td>皮膚及び身体の保護具</td> <td>耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等</td> </tr> </table>	呼吸器用の保護具	保護マスク	手の保護具	不浸透性手袋	眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡	皮膚及び身体の保護具	耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等
呼吸器用の保護具	保護マスク								
手の保護具	不浸透性手袋								
眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡								
皮膚及び身体の保護具	耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等								

9. 物理的及び化学的性質

形状	液体
色	淡黄色澄明
比重	0.994 (20℃)
pH	5.1 (20%水溶液)
引火点	29℃

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下では安定。
反応性	通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	通常の条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	取扱条件に従っているとき、特になし。
混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性			
経口 LD50	ラット	4200 mg/kg (♂)	3100 mg/kg (♀)
経口 LD50	マウス	>5000 mg/kg	
経皮 LD50	ラット	>2000 mg/kg	
皮膚腐食性/皮膚刺激性	ウサギ	軽度の刺激性あり(7日以内に回復)	
眼に対する重篤な損傷性/目刺激性	ウサギ	軽度の刺激性あり(7日以内に回復)	
呼吸器感受性又は皮膚感受性	モルモット	皮膚感受性あり	
生殖毒性		区分 1B に分類されるメタノールをカットオフ値の 0.3%以上含有することから区分 1B とした。	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		区分 1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)に分類されるメタノールをカットオフ値の 10%以上含有することから区分 1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)とした。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分 1 に分類されるメタノールをカットオフ値の 10%以上含有することから区分 1 とした。	

12. 環境影響情報

生態毒性:		
	コイ LC ₅₀ (96hr)	2.6 mg/L
	ミジンコ EC ₅₀ (48hr)	5.0 mg/L
	藻類 EbC ₅₀ (72hr)	14 mg/L
	ErC ₅₀ (72hr)	29 mg/L

13. 廃棄上の注意

注意事項	<p>廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。</p> <p>廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。</p>
------	--

空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制	
陸上輸送	
・国連番号	UN1993
・国連輸送名	引火性液体、N.O.S.(メタノール)
・国連分類	3
・容器等級	III
・ラベル	3
・環境有害性	非該当
航空輸送	
・国連番号	UN1993
・国連輸送名	引火性液体、N.O.S.(メタノール)
・国連分類	3
・容器等級	III
・ラベル	3
・梱包指示(貨物機)	
・梱包指示(旅客機)	
・梱包指示(少量輸送許容物件)	
・環境有害性	非該当
海上輸送	
・国連番号	UN1993
・国連輸送名	引火性液体、N.O.S.(メタノール)
・国連分類	3
・容器等級	III
・ラベル	3
・EmS コード	
海洋汚染物質	非該当
輸送時の安全対策	運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。消防法の定めに従う。

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 24525 号
労働安全衛生法	法第 57 条の 2 通知対象物質 メタノール 12%
消防法	危険物第 4 類第 2 石油類(水溶性液体)
PRTR法	第一種指定化学物質 ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル

第一種指定化学物質 ポリオキシエチレンアルキルエーテル

16. その他の情報

記載内容の取扱い

製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。

当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジエンタは責任を負いません。

問合せ先

担当部門
HSEグループ

電話番号
03-6221-1027

中毒の緊急問合せ先

財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1 件につき 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9-21 時)	029-852-9999	029-851-9999

「アングラシス」はシンジエンタ社の登録商標です。